

社長から技術者へのメッセージ「開発行動の差別化」

～わが社は技術者の“動き”で世界と勝負する～

セミナーのねらい

どうしたら世界を相手に強いビジネスをつくれるのか？ 存在感が失われつつあるモノづくり企業の最大の命題です。その答えを欧米型マネジメントの“形”に求め、改革を試みてきましたが多くは空回りに終わっています。期待した答えはお手本とした欧米型マネジメントの中には無いようです。

本セミナーでは、日本企業の中に長年にわたり培われたDNAとしての“動き”を軸にした新製品・新事業開発戦略を解説します。ビジネスモデルなどの“形”ではなく、**開発技術者の“動き”を戦略的にマネジメント**することで世界を相手に勝負します。

セミナーの内容

1. わが社は進化・変化の“動き”で世界を相手に戦い、そして勝てる
 - ◇システム音痴、ブランド音痴、規模音痴のわが社でも勝てる「進化・変化の事業ゾーン」がある
 - ◇わが社の開発の現場には世界の企業が真似することのできない“動き”の強さがある
2. 開発テーマは**しみ出し型**を基本とする
 - ◇段階的なイノベーション狙い、既存事業と類似した事業カルチャーの範囲での開発テーマに徹する
 - ◇ブレークスルー・イノベーションを狙わない、儲け方がわからない異質な事業カルチャーのテーマを追わない
3. そこでの開発ゴールは唯一**GDT**である（Global De-facto Top: グローバルで事実上の業界標準をとりトップシェア）
 - ◇わが社の技術者はGDTを唯一絶対の開発ゴールとしなければならない
 - ◇GDT製品に仕立て上げることで必ず儲けることができる。GDT製品にできなければ開発する意味はない。
4. 4つの習慣化でわが社の技術者の**開発行動を差別化**できる、世界で勝てる
 - ◇GDTに至るルートに沿った技術者行動を習慣化することで迫力ある効率的な開発が可能になる
 - ◇自分流集団から脱皮して、他社に先駆けて組織としての開発効率を高め、開発力で自信を取り戻す

講師の紹介

水島 温夫（みずしま あつお）

フィフティ・アワーズ代表取締役主席研究員

製造業からサービス業に至る幅広い業界にわたり事業コンサルティング活動を展開、数多くのプロジェクト経験より、事業革新、R&Dマネジメント、新事業開発に関する独自のアプローチと手法を開拓

慶應義塾大学機械工学修士 スタンフォード大学化学工学修士 および シビルエンジニアリング修士

IHIを経て、三菱総合研究所に入社 国際コンサルティング部長、経営コンサルティング事業センター長、MRI-SP GmbH(独)副社長、等歴任



開催概要・お申込

日時： 2019年10月15日（火）

午後5時～7時（30分前より開場）

場所： 東京国際フォーラムG410号室(4階)

(JR線有楽町駅前 東京メトロ有楽町線有楽町駅)

定員： 40名(参加費用は無料です。定員になり次第、締め切らせて頂きます。予めご了承ください。)

尚、ご参加の方には、講師著「開発行動の差別化」(言視舎)を無料で差し上げます。

対象： 経営幹部、経営企画、R&D担当、
新規事業担当役員向けの内容です

お申込： 以下Eメール（①御社名、②御所属・お役職、
③参加者名）でお申し込み下さい。

Eメール： fujii@50hrs.co.jp

経営者フォーラム 担当 藤井

本セミナーに関連する講師著書の紹介

「50時間で会社を変える！」



儲かる会社を創る
実践シナリオ

日本実業出版社

「50時間の部長塾」



グローバル時代
閉塞突破の経営

生産性出版

「技術者力の高め方」



戦略思考で研究開発
製品開発が変わる

PHP研究所

「組織力の高め方」



新しい日本的経営
で勝つ！

PHP研究所

「開発行動の差別化」



技術者行動の革新
図説版

言視舎

「新規事業の座礁とリスタート」



4つの視点
50のチェックリスト
図説版

言視舎